

授業科目 運動学実習

【担当教員名】 大西 秀明、久保 雅義、田巻 弘之、 江原 義弘、桐本 光、鈴木 誠 他		対象学年 2	対象学科 理学・作業
		開講時期 前期	必修選択 必修
		単位数 2	時間数 60
【カリキュラムポリシーとの関連性】			
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度
○	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 筋組織の観察や筋力・筋活動の計測、動作分析などを通して、「人の動き」を分析・解釈する能力を習得し、「人の動き」について理解を深める。			
【学習目標】 1. 動作分析装置を利用して計測した生体運動を分析することができる 2. 筋収縮と関節トルクとの関係を説明できる 3. 筋電計を用いて動作時の筋活動を正確に計測し、その結果を説明できる 4. 筋組織を観察し、筋肉の構造と収縮メカニズムについて説明することができる 5. 上位中枢から骨格筋に至る生体電気信号の下行経路を説明できる			
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	課題Ⅰ：三次元動作分析	1	江原・久保
2	課題Ⅰ：三次元動作分析	1	江原・久保
3	課題Ⅰ：三次元動作分析	1	江原・久保
4	課題Ⅰ：三次元動作分析	1	江原・久保
5	課題Ⅰ：三次元動作分析	1	江原・久保
6	課題Ⅰ：三次元動作分析	1	江原・久保
7	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係	3・4	鈴木誠
8	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係	3・4	鈴木誠
9	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係	3・4	鈴木誠
10	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係	3・4	鈴木誠
11	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係	3・4	鈴木誠
12	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係	3・4	鈴木誠
13	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析	5・6	大西
14	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析	5・6	大西
15	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析	5・6	大西
16	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析	5・6	大西
17	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析	5・6	大西
18	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析	5・6	大西
19	課題Ⅳ：筋組織の観察	2	田巻
20	課題Ⅳ：筋組織の観察	2	田巻
21	課題Ⅳ：筋組織の観察	2	田巻
22	課題Ⅳ：筋組織の観察	2	田巻
23	課題Ⅳ：筋組織の観察	2	田巻
24	課題Ⅳ：筋組織の観察	2	田巻
25	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間計測・解析	6・7	桐本
26	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間計測・解析	6・7	桐本
27	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間計測・解析	6・7	桐本
28	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間計測・解析	6・7	桐本
29	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間計測・解析	6・7	桐本
30	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間計測・解析	6・7	桐本
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)			<発行年・価格 他>
参考書	6ステップ 臨床動作分析マニュアル第2版		文光堂 2010・5,200円
その他の資料	別途連絡する		
【評価方法】 実習態度、レポート、口頭試問	【履修上の留意点】 ○6名で1班を構成して実習を行う ○5班で1グループ(30名)を構成する Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること 実習に対する予習を十分に行っていくこと		